

第 1 6 4 7 回島根県教育委員会会議 議題書

令和 6 年 4 月 25 日 (木)
日 時
13 時 30 分～

第 1 6 4 4 回教育委員会会議議題

期日 令和 6 年 4 月 25 日 (木)

議 題	
－ 公 開 －	
(報告事項)	
第 1 号 教員不足の状況と対策について (学校企画課)	———— 1
第 2 号 令和 6 年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査について (教育指導課)	———— 2
第 3 号 令和 6 年 3 月公立高校及び特別支援学校高等部卒業者の進路状況 について (教育指導課・特別支援教育課)	———— 3
第 4 号 島根県生徒指導審議会委員の委嘱について (教育指導課)	———— 4
第 5 号 令和 6 年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰について (教育指導課・社会教育課)	———— 5

教員不足の状況と対策について

1 公立学校における欠員状況

- (1) 令和6年4月1日現在の欠員は、全体で29人（R5：37人）。
- (2) 学級担任に欠員はない（小・中・高・特支）。
- (3) 学校単位で教員不在教科はない（中・高・特支）。

令和6年4月1日現在[速報値]、（ ）は令和5年4月1日の数値

	1年期限付き任用	短期任用 (産休・育休代替等)	計	【参考】 教員総数
小学校	4人 (9人)	5人 (5人)	9人 (14人)	3,014
中学校	3人 (9人)	3人 (4人)	6人 (13人)	1,784
高等学校	9人 (6人)	3人 (1人)	12人 (7人)	1,547
特別支援学校	2人 (2人)	0人 (1人)	2人 (3人)	941
計	18人 (26人)	11人 (11人)	29人 (37人)	7,286

(注)・短期任用の小学校欄「(5人)」及び中学校欄「3人」の他、それぞれ学校栄養職員1人の不足有。

- ・教員総数には、県単独の加配を含む。

2 教員不足の要因・背景

近年の大量退職や特別支援学級の増加、学校の抱える課題の複雑化・困難化を背景とした手厚い教員配置（県単独事業を含む。）などにより、毎年、多数の教員確保を行う必要がある一方で、県内人口の減少、教員志望者の減少等により、必要数に見合った教員のなり手を確保できない状況が続いている。

教員志望者減少の背景には、時間外勤務や保護者対応等を含めた勤務環境への懸念・不安等も存在していると考えられることから、教員不足を解消するためには、教員確保に向けた直接的な取組と働き方改革及び教職員へのサポート強化を車の両輪として進めていく必要がある。

【参考】関連データ

	必要教員の主な変動要因			退職・採用・暫定再任用等					
	増要因		減要因	④ 退職者 (辞職者含)	新規採用者			⑧ 暫定再任用者 (名簿登載者)	⑨ 定年引上げに伴う60歳以上継続勤務者[R6～]
	① 特別支援 学級数 (対象児童 生徒数)	② 少人数学級編 制の県単加配 (課題解決・制 度改正加配含)	③ 児童生徒数		⑤ 採用者 (名簿登載者)	⑥ 採用試験（前年度実施）の状況 受験者数	⑦ 倍率 (名簿登載者)		
H13	367 (609)	0	93,019	206	121 (129)	1,568	13.0 (12.2)	0	
H23	492 (1,059)	57	75,006	188	164 (165)	1,245	7.6 (7.5)	24 (26)	
H24	499 (1,069)	43	73,348	235	159 (167)	1,220	7.7 (7.3)	23 (23)	
H25	511 (1,097)	48	72,363	235	156 (166)	1,218	7.8 (7.3)	31 (41)	
H26	504 (1,129)	98	71,379	263	164 (167)	1,152	7.0 (6.9)	44 (54)	
H27	524 (1,184)	127	70,335	259	226 (233)	1,180	5.2 (5.1)	50 (52)	
H28	537 (1,272)	175	69,697	294	225 (230)	1,251	5.6 (5.4)	81 (86)	
H29	534 (1,306)	179	68,858	290	209 (216)	1,204	5.8 (5.6)	133 (141)	
H30	554 (1,468)	193	68,156	303	216 (216)	1,184	5.5 (5.5)	168 (198)	
R1	578 (1,527)	198	67,565	304	245 (264)	1,142	4.7 (4.3)	203 (242)	
R2	614 (1,672)	179	67,031	316	265 (278)	998	3.8 (3.6)	271 (300)	
R3	617 (1,783)	148	66,409	363	260 (284)	1,042	4.0 (3.7)	307 (339)	
R4	638 (1,899)	138	65,939	320	280 (302)	906	3.2 (3.0)	379 (406)	
R5	652 (2,011)	122	65,571	174	271 (294)	891	3.3 (3.0)	406 (451)	
R6	5/1現在の数値は調査中、6月頃に判明。				277 (327)	996	3.6 (3.0)	286 (351)	142

※ ①～③は5月1日現在の数値、④は年度末現在、⑤⑧⑨は4月1日の数値

(参考) 少人数学級編制の変遷

H15：小1 30人学級導入

H16：小2 30人学級導入

H26：小3・小4・中1 35人学級導入

H27：小5・中2 35人学級導入

H28：小6・中3 35人学級導入

R3：小2 32人学級、中3 38人学級に変更、国学級編制基準変更：小2 35人

R4：中2 38人学級に変更、国学級編制基準変更：小3 35人

R5：国学級編制基準変更：小4 35人

R6：国学級編制基準変更：小5 35人

3 教員確保に向けた取組

(1) 常勤教員の未配置が生じている学校現場の負担軽減

- ① 「緊急対応非常勤講師」の勤務時間増（875 時間⇒最大 1095 時間）・業務内容の柔軟化（授業だけでなく校務も実施可能）【義務：R5～】
欠員補充のための非常勤講師の時数増（最大 12 時間⇒15 時間）【県立：R6】
- ② 「緊急校務支援員」（教員免許なし）の配置（県 10/10）【義務：R4～】
- ③ 各種制度・事業等の運用緩和（主幹教諭の授業時間数（義務：週 10 時間程度、県立：魅力化主幹週 5 時間）の上限撤廃、加配関係書類の簡素化・省略化、初任研に係る非常勤講師の任用の柔軟な運用など）【R4～】
- ④ 講師配当枠に対する志願者の多い養護助教諭の一部振替配置【義務：R6】

(2) 年度途中での人材確保

- ① 定年退職者等への再度の働きかけ（退職校長園長会とも連携）
- ② 募集広報等の強化
- ③ 5 月実施の特別選考試験合格者の年度内採用 など

(3) 欠員ゼロに向けた対応（主なもの） ※別紙『しまねの教員確保プラン』参照

- ① 再任用等の促進（選択肢拡大：管理職、指導主事、専科指導、短時間勤務など）
- ② 教員採用試験の見直し（Uターン・Iターン、新卒者、他業種からの転職など）
※ 特に「特別選考試験」【R4～】、「島根創生特別枠」【R5～】など
- ③ 教員志望者の裾野拡大（高校生・大学生及び免許保持者へのアプローチ）
 - ・ 高校生対象「教員志望セミナー」の拡充（拠点校 6 校）【R3～】
 - ・ 県内外大学 1、2 年生の学校体験・実習の実施【R5～】
 - ・ プレティーチャーセミナーの実施【R4～】
- ④ 募集広報・教職の魅力発信強化
- ⑤ 相談・サポート体制強化（新規採用者等の定着促進、離職防止）
 - ・ スクールロイヤー・教員サポーターの配置、スクールカウンセラー等配置拡充
- ⑥ 教員籍の行政等勤務者（指導主事・社会教育主事等）等の配置合理化
 - ・ 県教委：配置合理化・・・R5～R8 で計 20 人を学校現場へ（R6 当初で 6 人）
60 歳以上の者の任用・・・R6：37 人（前年度比 3 人増）
※ 国スポ関係職員を除く。
 - ・ R7 当初は派遣指導主事 7 人、派遣社会教育主事 5 人の計 12 人を学校現場へ（予定）
- ⑦ 処遇改善や奨学金返還免除制度の検討（県独自制度の検討＋国への要望） など

「しまねの教員確保プラン」（教員確保対策の全体像）

※下線部はR 6 新規・拡充施策

主なターゲット等	項目	内容
60 歳以上のベテラン教員	再任用等の促進 定年延長制度の円滑運用	・ 60 歳以降の働き方の選択肢拡大（管理職、指導主事・社会教育主事、初任研指導員、専科指導、授業以外の校務中心、管理職サポートなど） ・ <u>定年前再任用・暫定再任用短時間の活用（教科指導型・人材育成型教員配置）</u> ・ 60 歳以上の小学校担任等に対する処遇改善に向けた調整
県内教員	働き方改革	・ <u>働き方改革推進室を設置による各種施策の推進</u> ・ 重点期間取組検証結果(R4. 12 月公表)、持ち帰り仕事等調査結果（R6. 1 月公表）に基づく更なる取組の推進（サポート人材の配置充実、デジタル採点等の I C T 活用推進、事務削減等）
	相談・サポート体制強化等	・ 教職員の相談窓口「教員サポーター」の教育センター配置と相談対応強化 ・ 学校からの法的相談に対応する「スクールロイヤー」の配置 ・ 若手教員同士が交流する機会の設定（島根大学と連携したセミナー開催等）
	事前研修 （採用・任用予定者）	・ 正規採用者に対する採用前研修の充実（全体研修、新卒者対象の現場実習）
他県教員	Uターン・I ターン促進	・ 特別選考試験（面接のみ）による採用促進 ・ Uターン・I ターンフェア（しまね定住財団主催イベントへの出展等）
教員経験者 （早期辞職者等）	職場復帰促進	・ 特別選考試験（面接のみ）による採用促進（正規教員経験者の職場復帰）
他業種就職者 （潜在教員）	教職への転職促進	・ 他業種就職者を対象とした教員採用試験での特例措置（加点）の創設 ・ 教職についていない教員免許保有者を対象とした「プレティーチャーセミナー」や相談会の開催 ・ 転職サイトへの情報掲載 ・ <u>教員採用試験での社会人（教員免許を有しない者）を対象とした選考枠の拡大（中学校の一部教科を追加。高校専門教科は継続）</u>
大学生	大学生の教員志望者増等	・ 教員採用試験における「島根創生特別枠」による採用促進（ <u>対象校種に中学校を追加</u> ） ・ 県内大学 1 ・ 2 年生を対象としたインターンシップ（学校職場体験） ・ 県外大学（IPU 環太平洋大学、 <u>広島文教大学</u> ）の 1、2 年生を対象にしたセミナーや実習（両大学と教員養成に関する連携協定を締結）。 ・ 現職教員による県内大学での講義、現職教員と学生との交流会 ・ 高校の情報免許併有促進（島根大学対応済）、中学校の複数教科免許取得促進
	高校専門教科等の人材確保	・ 高校専門教科に係る関係大学（特に水産・工業）へのリクルート活動強化
高校生	教員志望セミナー（教師塾）	・ 県内大学の協力を得て、教職に関心を持つ高校生を対象としたセミナーを開催（拠点校：松江東、大社、大田、浜田、益田、隠岐）
	教員の仕事ハンドブック	・ 教員の仕事・魅力を分かりやすく解説したハンドブックを作成し、県内高校生等に配布（キャリア教育等において活用）
全般	教員採用・魅力発信ポータルサイト	・ 「しまねの先生ナビ」の公開（ <u>掲載内容の充実</u> ）
	インターネット活用	・ S N S によるターゲティング広告（Facebook、Instagram など） ・ 民間就活サイトへの情報掲載
	アナログ広報	・ 新聞広告、スクールバス用大型マグネット、ポスター掲示、リーフレット配布、教員版しまねっこを活用した広報など

その他の施策	指導主事等の配置合理化等	・ 指導主事・社会教育主事を学校現場に戻す対応（教育事務所と教育センターの指導主事配置合理化、事務振替、60 歳以上の者の指導主事等への任用促進） ・ <u>派遣指導主事・社会教育主事計 12 名を学校現場へ（予定）</u> ・ 島根大学附属義務教育学校への教員派遣数の検討（鳥取県からの派遣増など）
	教員不足に伴う緊急措置	・ 「緊急対応非常勤講師」の勤務時間増（義務：875 時間⇒最大 1095 時間） ・ <u>欠員補充の非常勤講師の時数増（県立：最大 12 時間⇒最大 15 時間）</u> ・ 教員未配置校に対する「緊急校務支援員」の配置（県 10/10） ・ 各種制度・事業等の運用緩和（主幹教諭の授業時間数の上限撤廃、加配関係書類の簡素化・省略化、初任研あと補充非常勤講師の任用要件緩和など） ・ <u>講師配当枠に対する志願者の多い養護助教諭の一部振替配置</u>
	処遇改善等	・ 教職調整額の見直しを含めた処遇改善や奨学金返還免除制度の創設を国に要望

しまねの教員確保対策の全体像

R6.4月現在

処遇改善

常勤講師の給料表上の適用制限撤廃、退職手当支給
非常勤講師の期末手当支給

R4～

再任用管理職、
再任用指導主事・
社会教育主事の拡大

R6～

定年前再任用短時間
(暫定再任用短時間)

再任用

※再任用率 54.1%

常勤講師・非常勤講師

他県で定年退職した教員

R4～

Uターン・Iターン
フェア(年4回)

学 校

※採用試験倍率は年々低下 R5:3.0倍
※新規採用の3～4割は常勤講師

R4～

再任用者の拡大
業務見直し

R5～R7

削減
事務振替

正規教員は計画通り採用で
きて、常勤講師のなり手が
県内の教育界では大幅に
不足しているのが、教員不足
の正体

R4～

特別選考試験 ※面接試験のみ
R4…①5月連休中・②12月末
24名受験13名採用
(内、Uターン8・Iターン4)
R5…①5月連休中・②10月
②: 島根・東京・大阪・福岡で実施
R6…①5月連休中

他県で働く現職教員・退職教員

事務職員
に振替

本庁・教育事務所・教育センター・社会教育施設

島大教育学部附属義務教育学校

市町村教育委員会

R5～R7
割愛削減

R5～R7
割愛削減
派遣削減

新卒者のほか
①他県教員(現職・退職者)
②若手免許保持者で異業種
に就職した者が
ターゲット

異業種へ就職した者

R4～
プレティーチャー
セミナー
R5～
採用試験加点

市町村で事務
職員に振替

大学生 ※島大教育学部の教員就職率(68.6%)
(島根県教員就職率28.8%)

大学との連携強化
R5～
県内2大学1・2回生
学校体験(5日間)
13名参加
県外大学2回生
3日間教育実習受入れ
72名参加(出雲・江津)

鳥取県からも
島大附属に割愛派遣
配置適正化による削減

高校生

教員志望セミナー「教師塾」拡充

令和 6 年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査について

1 学力検査結果の概要

本概要は、令和 6 年 3 月 5 日に実施した学力検査における受検生の解答と得点状況を総括し、受検生の学力の傾向を示している。なお、過去の平均点や得点状況のデータも参考として掲載しているが、年度により問題の難易に差があるため、単純に経年比較することはできない。

(1) 全般

本検査は、中学校学習指導要領に沿って、日頃の学習で積み上げられた基礎学力を測るものであるとともに、問題作成にあたっては、知識及び技能に加えて、思考力、判断力、表現力等を問う問題を重視した。

学力検査結果全般から読み取れる学力の傾向は次のとおりである。

- ① 基礎的・基本的な事項については概ね定着している。
- ② 文章や図表などから何が問われているかを正確に捉え、複数の知識及び技能を相互に関連付けて活用する力や、適切に表現する力に課題がある。

(2) 国語

情報の分類、話し合いに必要な知識など、国語の学習で基盤となる力は身に付いているが、日常的に使わない語句に関する問題では正答率が低かった。文章読解では、部分を理解する問題の正答率が比較的高かった。一方、複数の情報を整理して主題を捉える問題は正答率が低く、本文から抜き出して答える形式でも無解答率が全体の 2 割を超えた。作文では、条件を満たして記述することができず、誤答となる生徒が多かった。条件に応じて、必要な情報を組み合わせて活用する力、粘り強く表現しようとする態度の育成が望まれる。

(3) 社会

基礎的・基本的事項を問う問題については正答率が比較的高いことから、三分野それぞれについての基礎的・基本的な知識や技能は概ね身に付いている。一方、異なる種類の資料を関連付けて考える問題や、考えたことを決められた字数内で表現する問題については正答率が低かった。習得した概念的知識や資料活用 of 技能を用いて、社会的事象を多面的・多角的に考察する力や、考えたことや判断したことを定められた条件のもとで適切に表現する力の育成が望まれる。

(4) 数学

基本的な知識を問う問題や計算技能をみる問題については正答率が高く、基礎的・基本的な事項の定着がうかがえる。また、問題場面における考察の対象を正しく捉えることはでき、必要な情報を読み取ることができている。しかしながら、用語の意味、基礎的な概念や原理・法則の理解が十分でない部分もある。具体的な数や文字式を用いて調べ、論理的に考察することや、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。情報を整理し、数学的に考察し表現する力、身に付けた知識及び技能を活用する力の育成が望まれる。

(5) 理科

知識及び技能をみる問題の正答率は高く、基礎的・基本的な事項はよく身に付いている。また、授業で扱った観察、実験に関する問題の正答率も高く、探究の過程を通じた授業の充実がうかがえる。一方、計算や論述による問題の正答率は低く、無答率も高かったことから、実験の結果などを論理的に考察したり、適切に表現したりすることに課題がある。科学的に探究する力を育成するために、自然の事物・現象と関わり、探究の過程を通して、理科の見方・考え方をより一層豊かで確かなものにしていくことが望まれる。

(6) 英語

図表から必要な情報を読み取る問題や、英文の中に解答と直結する表現がある問題の正答率は概ね高かった。一方で、聞き取ったり読み取ったりした内容をもとに、自分の考えを英語で表現する問題の正答率が低かった。複数の情報を整理して解答する問題の正答率はやや低かった。学習指導要領に基づき、新たに中学校で扱うことになった文法事項や、増加した語彙にうまく対応できていない様子も見られる。幅広い言語活動の中で語彙を定着させながら、複数の技能を効果的に統合して活用する力の育成が望まれる。

2 学力検査得点状況について

(1) 平均点・標準偏差

年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
教科	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国語	28.5	8.8	30.6	8.6	29.0	7.1
社会	27.4	9.6	27.9	9.0	30.5	10.4
数学	26.8	10.9	26.3	10.5	24.7	9.3
理科	25.2	9.5	29.8	11.6	26.9	11.4
英語	27.3	11.6	24.6	11.4	22.2	10.1
総得点	135.1	45.6	139.2	45.6	133.2	43.5

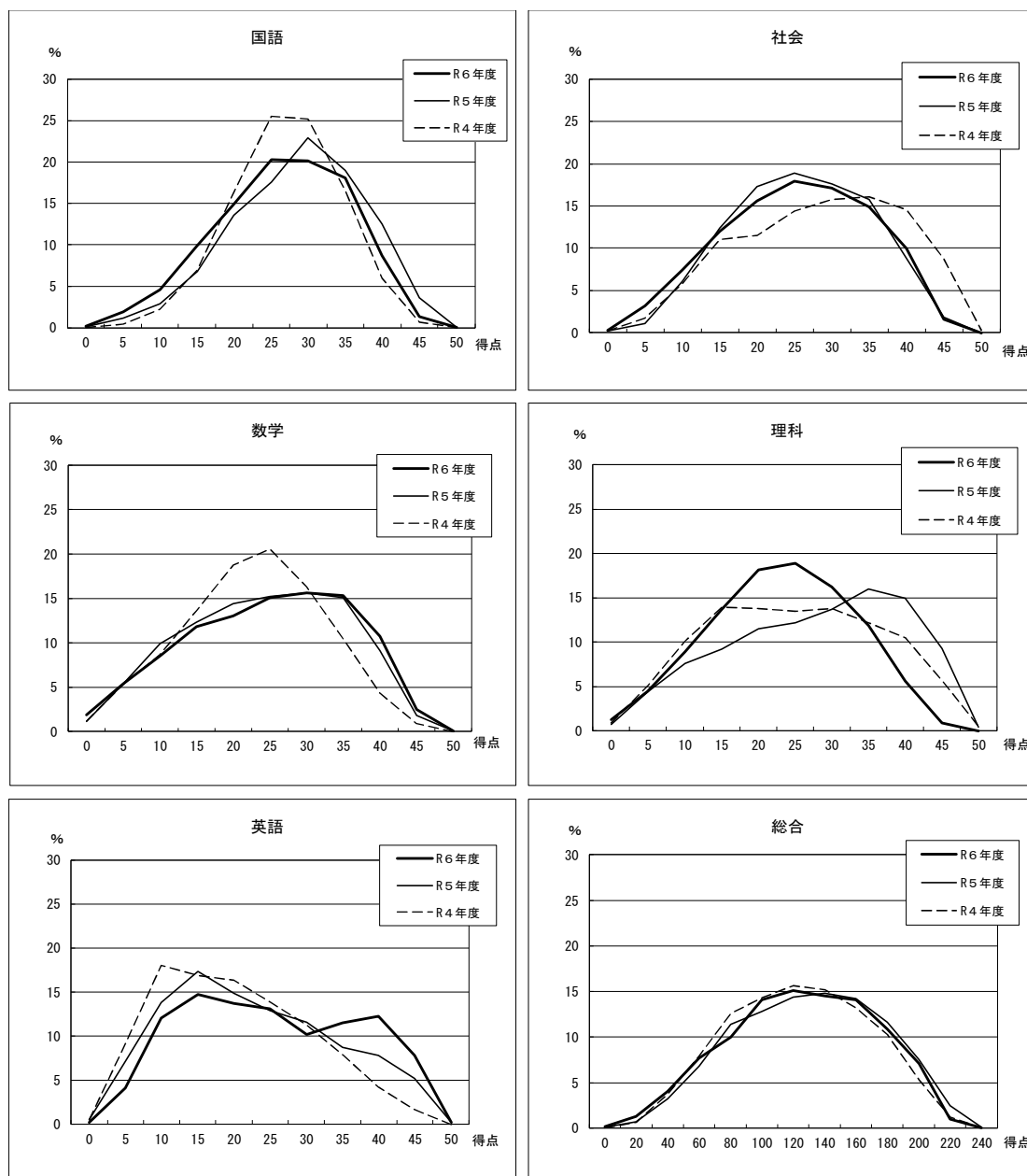
※各教科50点満点

※標準偏差…得点の散らばり具合を数値で表したもの。大きい値であれば幅広い得点分布となり、小さい値であれば平均点付近に集中した分布になる。

(2) 総得点分布

年度 得点	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人数	%	人数	%	人数	%
220点以上	35	1.0%	98	2.6%	46	1.2%
200～219	246	7.1%	286	7.5%	199	5.3%
180～199	378	10.9%	442	11.6%	387	10.3%
160～179	486	14.1%	538	14.2%	496	13.2%
140～159	500	14.5%	563	14.8%	574	15.2%
120～139	523	15.1%	547	14.4%	589	15.6%
100～119	487	14.1%	485	12.8%	540	14.3%
80～99	346	10.0%	432	11.4%	475	12.6%
60～79	267	7.7%	258	6.8%	299	7.9%
60未満	191	5.5%	150	3.9%	164	4.4%
計	3459		3799		3769	

(3) 得点分布



(4) 各教科を担当する教員の学力検査に対する意識調査結果

(中学校等 99 校 高校 39 校)

教科	校種	内容の程度			問題の分量		
		もっと下げる	ほぼ適当	もっと上げる	多い	ほぼ適当	少ない
国語	中学校	7.1%	90.9%	2.0%	13.1%	86.9%	0.0%
	高校	5.1%	92.3%	2.6%	17.9%	82.1%	0.0%
社会	中学校	4.0%	90.9%	5.1%	2.0%	98.0%	0.0%
	高校	12.8%	87.2%	0.0%	17.9%	82.1%	0.0%
数学	中学校	2.0%	92.9%	5.1%	11.1%	87.9%	1.0%
	高校	0.0%	97.4%	2.6%	7.7%	92.3%	0.0%
理科	中学校	1.0%	92.9%	6.1%	5.1%	94.9%	0.0%
	高校	23.1%	76.9%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%
英語	中学校	2.0%	89.9%	8.1%	5.1%	93.9%	1.0%
	高校	0.0%	89.7%	10.3%	0.0%	94.9%	5.1%

3 今後の予定

6 月に、「令和 6 年度島根県公立高等学校入学者選抜の結果と分析」を作成し、県内中学校、高等学校等へ周知する。

令和6年3月公立高校及び特別支援学校高等部卒業者の進路状況について

1 令和6年3月公立高校卒業者の進路状況（県立、市立の全日制、定時制）

(1) 進路状況の年度別推移

※諸事情による未定者は除く

年度	卒業 者数	進学			就職			進学 就職 計			未定
			県内	県外		県内	県外		県内	県外	
R3	4,351人	3,201人 (73.6%)	1,042人 32.6%	2,159人 67.4%	881人 (20.2%)	692人 78.5%	189人 21.5%	4,082人	1,734人 42.5%	2,348人 57.5%	239人 進学229人 就職10人
R4	4,319人	3,232人 (74.8%)	1,107人 34.3%	2,125人 65.7%	838人 (19.4%)	667人 79.6%	171人 20.4%	4,070人	1,774人 43.6%	2,296人 56.4%	214人 進学204人 就職10人
R5	4,119人	3,070人 (74.5%)	973人 31.7%	2,097人 68.3%	812人 (19.7%)	668人 82.3%	144人 17.7%	3,882人	1,641人 42.3%	2,241人 57.7%	212人 進学199人 就職13人

(注) 各年度3月末日現在

(2) 進学の状況

()は令和5年3月の数値

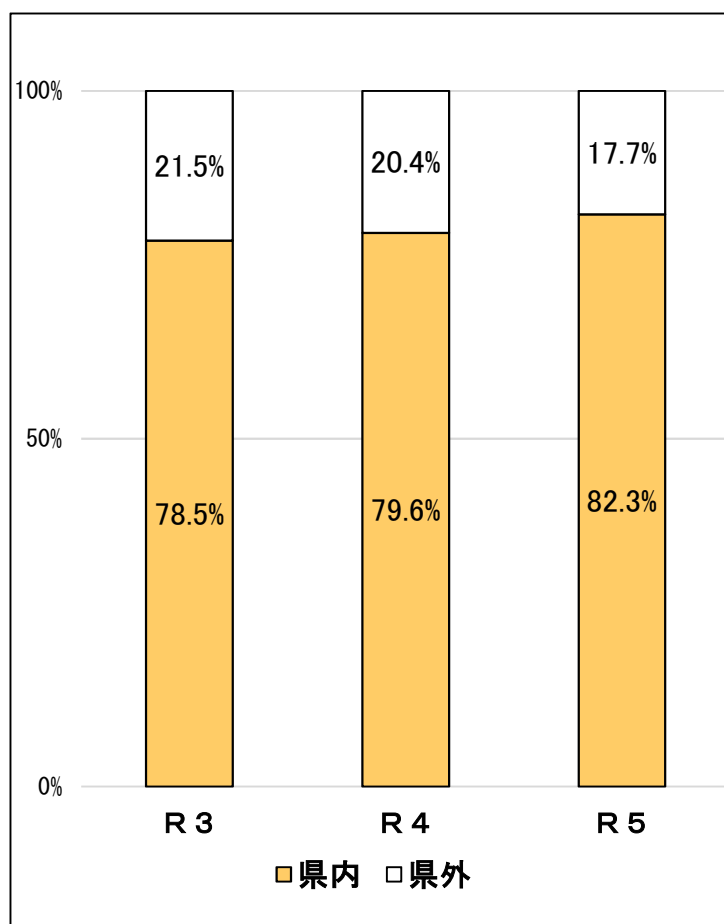
進学区分		人 数			割 合		
		県内	県外	合 計	県内	県外	全 体
四年制大学	国公立	422 (483)	573 (572)	995 (1,055)	42.4% (45.8%)	57.6% (54.2%)	32.4% (32.6%)
	私 立		929 (939)	929 (939)		100% (100.0%)	30.3% (29.1%)
	計	422 (483)	1,502 (1,511)	1,924 (1,994)	21.9% (24.2%)	78.1% (75.8%)	62.7% (61.7%)
短期大学	国公立	55 (61)	17 (8)	72 (69)	76.4% (88.4%)	23.6% (11.6%)	2.3% (2.1%)
	私 立	12 (29)	93 (114)	105 (143)	11.4% (20.3%)	88.6% (79.7%)	3.4% (4.4%)
	計	67 (90)	110 (122)	177 (212)	37.9% (42.5%)	62.1% (57.5%)	5.8% (6.6%)
専修学校		411 (450)	462 (470)	873 (920)	47.1% (49.0%)	52.9% (51.0%)	28.4% (28.5%)
公共職業能力開発施設		55 (67)	16 (12)	71 (79)	77.5% (84.8%)	22.5% (15.2%)	2.3% (2.4%)
その他(高専編入・留学等)		18 (17)	7 (10)	25 (27)	72.0% (63.0%)	28.0% (37.0%)	0.8% (0.8%)
合 計		973 (1,107)	2,097 (2,125)	3,070 (3,232)	31.7% (34.3%)	68.3% (65.7%)	100.0% (100.0%)

(3) 就職の状況

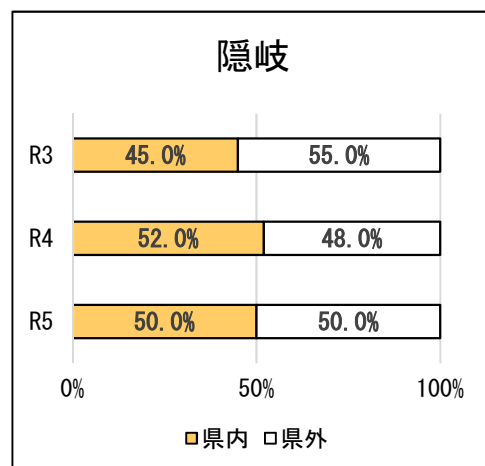
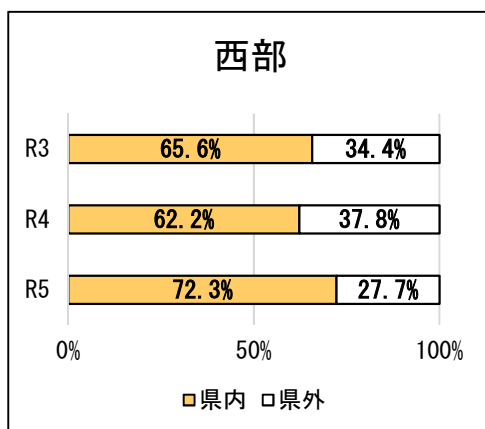
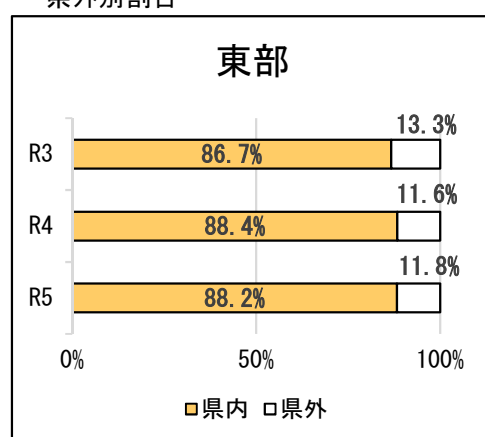
年度	卒業者数	就職希望者数(人)			就職希望者の割合	就職内定者数(人)			内定率	就職未内定者数(人)		
		県内	県外	小計		県内	県外	小計		県内	県外	小計
R3	4,351	699	192	891	20.5%	692	189	881	98.9%	7	3	10
R4	4,319	674	174	848	19.6%	667	171	838	98.8%	7	3	10
R5	4,119	678	147	825	20.0%	668	144	812	98.4%	10	3	13

【参考】

1 就職内定者の県内、県外別割合



2 就職内定者の高校所在地域別の県内、県外別割合



〔県内就職の状況〕

1 県全体

県内就職内定者の割合は、対前年度比 2.7 ポイントの増

2 高校所在地域別

県内就職内定者の割合は、対前年度比で、令和 5 年度は、東部地域は 0.2 ポイントの減、西部地域は 10.1 ポイントの増、隠岐地域は 2.0 ポイントの減

2 令和6年3月 特別支援学校高等部卒業者の進路状況について（令和6年3月末日現在）

(单位:人、%)

年度	卒業 者数	進学			職業訓練	就職	障害福祉サービス等							障害児 施設	入院	未定
		特別支 援学校 専攻科	大学・ 短大	各種学 校(専 門学校 等)			就労継続 A型	就労継続 B型	就労移行 支援	自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	生活介護	その他				
H30	180	1	2	3	9	66	10	45	5	8	19	4	3	4		
		6			9	66	88							4	3	4
		3.3%			5.0%	36.7%	48.9%							2.2%	1.7%	2.2%
R1	211	1	2	3	5	80	9	54	8	2	34	2	3	6		
		6			5	80	109							2	3	6
		2.8%			2.4%	37.9%	51.7%							0.9%	1.4%	2.8%
R2	181	0	2	0	5	65	4	49	5	2	28	1	1	19		
		2			5	65	89							0	1	19
		1.1%			2.8%	35.9%	49.2%							0.0%	0.6%	10.5%
R3	179	0	0	5	2	59	7	51	4	1	35	2	2	6		
		5			2	59	103							2	2	6
		2.8%			1.1%	33.0%	57.5%							1.1%	1.1%	3.4%
R4	192	0	0	4	4	71	5	59	2	1	35	2	0	6		
		4			4	71	105							2	0	6
		2.1%			2.1%	37.0%	54.7%							1.0%	0.0%	3.1%
R5	149	1	3	3	7	53	6	38	4	1	25	1	0	7		
		7			7	53	74							1	0	7
		4.7%			4.7%	35.6%	49.7%							0.7%	0.0%	4.7%

卒業時未定者のR6.4.18現在 の状況					進 学	就 職	* 福 士	未 定	不 明
					3	4	6	4	2
					1	0	0	3	2
					0	2	3	1	0
卒業時未定者のR6.4.18現在 の状況					0	1	0	0	1
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

*福祉…障害福祉サービス等

＊（ ）内は就職後、離職して求職中

島根県生徒指導審議会委員の委嘱について

1 審議会の担当事務 <島根県附属機関設置条例>

教育委員会の諮問に応じ、生徒指導上の諸問題に関し必要な事項を調査審議すること

2 委員の構成 <島根県生徒指導審議会規則第2条第2項>

- (1) 学識経験のある者
- (2) 弁護士、医師その他の関係する資格を有する者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員

区分	氏 名	所 属 ・ 職	再・新
第1号 (有識者)	河添 達也	島根大学教授	新規
第2号 (医師、 弁護士等 有資格者)	大西 智之	弁護士	継続
	富澤 治	医師	継続
	荒川 ゆかり	臨床心理士・公認心理師	継続
	深貝 登志子	社会福祉士	継続
第3号 (必要と認める 者)	繁浪 均	人権擁護委員	継続
	藤原 寛	元公立小学校長	継続
	五明田 典子	元公立中学校長	継続
	倉崎 千草	元県立学校長	継続
	三浦 洋子	元県警職員	継続

4 任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

令和6年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）
文部科学大臣表彰について

1 趣 旨

読書活動の一層の推進を図り、国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるために、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において特色ある優れた実践を行っている学校・園・図書館・団体（個人）に対し、その実践をたたえ文部科学大臣が表彰する。

2 区 分

- (1) 学校・園：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校、幼稚園、認可保育所、認定こども園（全類型）
- (2) 図 書 館：図書館法第2条に規定する公立、私立の図書館
- (3) 団体(個人)：団体又は個人

3 被表彰団体

- (1) 学校・園：安来市立安来幼稚園（安来市）
浜田市立岡見小学校（浜田市）
島根県立松江緑が丘養護学校（松江市）
- (2) 図 書 館：雲南市立大東図書館（雲南市）
- (3) 団 体：読み聞かせサポーター「きらりんこ」（出雲市）

4 主な活動内容等
別紙のとおり

5 表彰式

- (1) 日 時 等：令和6年4月23日（火） 13：00～17：00
「子どもの読書活動推進フォーラム」において実施
- (2) 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

被表彰団体の主な活動内容等

	団 体 名	主 な 活 動 内 容
学 校 ・ 園	安来市立安来幼稚園 (安来市) ・学級数 2学級 ・園児数 24人	・絵本とのふれあいを重点項目に掲げ、長年にわたり各担任、園長を中心に、読書活動を通して幼児期に豊かな感性を育んでいる。職員を対象に絵本に関する園内研修を開催するなど、幼児期の読書の重要性についての共通理解のもと全職員で一貫した読書活動を行っている。 ・毎日読み聞かせの時間を必ず設けるほか、週1回は市内の絵本ボランティアに依頼し、年齢別に読み聞かせを行っている。園内には絵本専用の部屋を設置し、900冊を超える蔵書を保有している。各クラス内にも巡回図書や園内蔵書から選定した絵本コーナーを作り、身近に本に触れる環境を積極的に作っている。親子で本に親しむ機会を設けるとともに、読みきかせや幼児期の読書活動の大切さについて保護者に向け積極的に発信している。毎週末には全園児に絵本の貸し出しを行い、家庭における読書の大切さや楽しさについての理解の促進にも努めている。
	浜田市立岡見小学校 (浜田市) ・学級数 7学級 ・児童数 45人	・中国地区学校図書館研究大会の提案発表校として、「考えを深め、思いを豊かに表現できる児童の育成～学校図書館の活用を通して、学びをつなげるための工夫～」というテーマで研究を進め、授業での図書館活用にも力を入れている。 ・図書館内には、学校目標や児童会委員会活動目標に掲げ、教職員と児童が一緒に図書館を運営・活用している。「調べ学習コーナー」を設置し、思考ツール、成果物がすぐ使えるように工夫されていたり、児童がゆったりと読書を楽しめるようにブックテラスが整えられたりしている。また、児童会委員会活動では、読書ビンゴや読書おみくじ、委員会のおすすめ本の紹介など、児童が主体となってみんなが楽しめる読書活動を工夫している。 ・家読や地域の読み語りボランティア、公共図書館など、家庭・地域とも連携を取り、読書活動を推進している。
	島根県立松江緑が丘養護学校 (松江市) ・学級数 18学級 ・児童生徒数 42人	・病弱教育特別支援学校であり、病状も特性も多様な児童生徒が在籍していることから、本の世界を通して楽しみを見つけたり、様々な世界を知ったりできるような図書館作りを目指し、司書教諭と学校司書が協力して取り組み、図書館の環境改善や児童生徒が興味をもつようなコーナー作り、図書館だよりの工夫等を行った。 ・移動に制限がある児童生徒など多様な子どもたちの読書機会を確保すべく、児童生徒が自ら手に取りやすくなるよう教室棟に移動図書館を設けて季節・学校行事に関する図書や新聞のバックナンバーを置いたり、学校司書や教員が個別に読み聞かせや朗読をしたりしている。読み聞かせ等の際は、オンラインの場合には物語に合わせて独自に効果音を用意したり、対面の場合には本の内容を想起させる具体物を用いたり、ICTも効果的に活用しながら、子どもたちがより本を楽しめるように工夫している。

図 書 館	雲南市立大東図書館 (雲南市) ・開設 昭和41年9月 ・職員数 5人	・町村合併以前から、段階的に公民館（交流センター）区ごとにボランティア（読書指導員）と連携しながら、小学生を対象とする読み聞かせや本の読み合いの会を40年以上にわたって継続的に開催し、地域全体の子どもの読書活動を積極的に推進してきた。その成果は、職場体験で館を訪ねた中学生が、地域で読書に親しんだ経験を生かして、進んで年少の子どもたちに読み聞かせをするなど、着実に根付き、広がりを見せている。 ・平成16年からは館内にて乳幼児と保護者を対象にわらべうた遊びや読み語りの会を、ボランティアと連携しながら開催し、家庭での読み聞かせ活動の推進につながる取組も積極的に行うなど幅広く子どもの読書を支援する活動を推進している。 ・地域の博物館と連携した企画展示、地域のこども園や交流センター、体育館などへの司書の選書による図書の貸出、小学生を対象とした司書体験講座の開催、SNSを活用した情報の積極的な発信など、他の機関・施設と連携した独自の新しい取組を積極的に推進している。
団 体	読み聞かせサポーター 「きらりんこ」 (出雲市) ・発足 平成21年2月 ・会員数 19人	・子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するため、出雲市が実施するブックスタート活動に参加するほか、子育て支援センター、図書館、認定こども園、小学校において、乳幼児から小学校低学年を対象に読み聞かせ会を積極的に実施するなど、就学前からの読書活動に熱心に取り組んでいる。 ・子どもの読書への関心を高めるため、単に絵本の読み聞かせを行うだけでなく、大型絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサート、人形劇を取り入れるなど、多様な子どもたちが参加できるよう工夫しながら読み聞かせ会を実施している。 ・活動拠点である海辺の多伎図書館は大田市に隣接するため、同館で実施する読み聞かせ会には、市外からの参加者も多い。当該団体は、発足から20年近くの長きにわたり、上記に掲げる活動を組織横断的に実施しており、出雲市西部地域における子どもの読書活動のけん引役を果たしている。

(学級数及び児童生徒数は令和5年5月1日現在)

過去の被表彰団体等（平成18年度以降）

年度	学校	図書館	団体（個人）
H18	松江市立大庭小学校	かわもと図書館	大東町子ども読書会（雲南市）
	斐川町立西野小学校		
	江津市立青陵中学校		
H19	安来市立井尻小学校	（該当なし）	桜江町読書普及協議会子ども読書推進部（江津市）
	出雲市立窪田小学校		
	川本町立川本西小学校		
H20	東出雲町立東出雲中学校	松江市立図書館	おはなしの部屋（隠岐の島町）
	飯南町立赤来中学校		
H21	東出雲町立揖屋小学校	大田市立大田市中央図書館	伯太町子ども読書クラブ（安来市）
	雲南市立加茂小学校		
	海士町立海士小学校		
H22	出雲市立久多美小学校	出雲市立平田図書館	なかよしおはなし会（斐川町）
	大田市立久手小学校		
	隠岐の島町立有木小学校		
H23	松江市立宍道小学校	邑南町立図書館石見分館	掛合町子ども読書連絡協議会（雲南市）
	斐川町立莊原小学校		
	大田市立五十猛小学校		
H24	邑南町立石見中学校	出雲市立ひかわ図書館	おはなしさんぽ（出雲市）
	海士町立福井小学校		
H25	浜田市立原井小学校	海士町中央図書館	読書ボランティアグループ ルピナス（川本町）
	隠岐の島町立西郷小学校		
H26	松江市立乃木小学校	安来市立図書館	河野美智子氏（個人・浜田市）
	大田市立北三瓶小学校		
H27	大田市立高山小学校	益田市立図書館	ちいさなろうそくの会（邑南町）
	浜田市立三階小学校		
H28	松江市立意東小学校	出雲市立出雲中央図書館	読書ボランティアさくらんぼ（出雲市）
	雲南市立佐世小学校		
	大田市立第二中学校		
H29	松江市立法吉小学校	雲南市立加茂図書館	チェルシー（海士町）
	浜田市立弥栄中学校		
	吉賀町立六日市小学校		
H30	安来市立十神小学校	浜田市立中央図書館	つくしんぼの会（大田市）
	大田市立仁摩小学校		
	益田市立高津小学校		
H31	安来市立社日小学校	島根県立図書館	こぐまちゃんくらぶボランティア（雲南市）
	大田市立大田小学校		
	奥出雲町立布勢小学校		
R2	松江市立竹矢小学校	（該当なし）	おはなしのんの（安来市）
	江津市立渡津小学校		
R3	松江市立島根小学校	（該当なし）	読み聞かせグループ ダンボの会（大田市）
	隠岐の島町立中条小学校		
	松江工業高等学校		
R4	江津市立郷田小学校	西ノ島町コミュニティ図書館	おはなしバウム（松江市）
	安来市立第一中学校		
R5	雲南市立掛合小学校	隠岐の島町立隠岐の島町図書館	おはなしレストラン（県立大学）